
鉱山研究会 (Japan Mine Research Society)

ニューズレター

No. 102

2016年3月15日

2016年度大会・総会案内

■日時：4月16日（土）13時30分～16時45分

■会場：渋谷区立勤労福祉会館2階第二和室

JR渋谷駅下車 徒歩約15分

東京都渋谷区神南1-19-8 電話：03-3462-2511

■問合せ・連絡先：村田 淳 電話：045-401-5259

■日程：報告

①金丸 哲也「古書籍ボタ拾い、日本全国北から南から」

②村田 淳「ダーウィン近郊の金鉱山・オーストラリア鉱山史協会
年次大会報告

③会員の近況報告・課題と疑問点など

総会 2014年度運営報告・2015年度運営計画

2014年度会計報告・2015年度会計予算

役員選出

年次大会報告者の募集

年次大会で報告していただける人を募集しています。テーマは、鉱山に関するものでしたら何でも構いません。映像資料の上映でも構いません。所要持ち時間は、原則として、報告20分、質疑応答10分です。時間が足りない場合は申し出てください。考慮いたします。

また会員でなくてもかまいません。

□問い合わせ・送り先：村田 淳 〒221-0011 横浜市神奈川区神之木台41-22

Tel・Fax：045-401-5259 メール：sunao-murata@y8.dion.ne.jp

*役員に申し出ていただいても構いません。

2015 年度運営報告

行事回数：①年次大会・例会 4回 ②見学会・巡検 1回 ③映像の会 3回
④海外文献の会 8回

刊行回数：①「鉱山研究」1回 ②「ニューズレター」4回

2015 年度

4月18日（土）年次大会 総会

5月14日（木）海外文献の会

26日（火）NL 99 発行（大会報告）

6月6日（土）第41回 映像の会 映画「ダーク・プレイス」ほか

11日（木）海外文献の会

7月16日（木）海外文献の会

18日（土）例会

①三輪紀元「第4次石炭政策下での雄別炭礦株式会社の企業ぐるみ閉山
と仮想雄別炭礦再開発計画」

②金丸哲也「第四次石炭政策と企業ぐるみ閉山（雄別を除く）」

8月13日（金）NL 100 発行（名簿、会費請求書同封）

20日（木）海外文献の会

27日（木）～29日（土）持倉鉱山・三川鉱山見学の下見

9月12日（土）第42回 映像の会・定例会の合同会

①映像の会 「明治日本の産業革命遺産（軍艦島）」ほか

②例会 「持倉鉱山・三川鉱山見学ガイド」ほか

10月22日（木）海外文献の会

31日（土）～11月1日（日）黒川金山見学会（持倉鉱山、三川鉱山中止）

11月26日（木）海外文献の会

12月7日（月）NL 101号発行

12月19日（土）第43回映像の会

ニュース映像・ドキュメンタリー（夕張・長崎・中国の炭礦ほか）

2016 年

1月23日（土）例会 島崎和夫「聞きがたり 続茨城の炭礦に生きた人たち」

28日（木）海外文献の会

1月末日 会報原稿締切

3月17日（木）NL 102 発行

4月上旬予定 「鉱山研究」92号発行（予算と原稿本数の不足のため、2013年度・2014年度の合併号とした）

年次大会・例会 4回

年次大会・総会

□日時：4月18日（土）13時～17時

□会場：川崎市産業振興会館11階第五会議室

□参加者：7人

□報告：齋藤和美『米欧回覧実記』を鉱業から読む（1）アメリカ篇
村田淳「国指定文化財、黒川金山（山梨県塩山市）巡検報告」
遠田義則「足尾の精錬所について」

ギター演奏：遠田義則「絵画「死の島」に着想をえたギターの演奏」

総会：2014年度運営報告、2015年度計画、2014年度会計報告、2015年度予算、役員選出

例会（1915年度1回目）

□日時：2015年7月18日（土）午後1時～5時

□会場：渋谷区立勤労福祉会館2階第三洋室

□参加者：6人

□報告：①金丸哲也「第四次石炭政策と企業ぐるみ閉山（雄別を除く）」

②三輪紀元「第4次石炭政策下での雄別炭礦株式会社の企業ぐるみ閉山と仮想雄別炭礦再開発計画」

例会（2回目）今回は映像の会と定例会を合同で実施。

□日時：2015年9月12日（土）15時15分～16時45分

□会場：渋谷区立勤労福祉会館2階第三洋室

□参加者：3人

□持倉鉱山・三川鉱山の概要（10月31日（土）～11月1日（日）に予定していた巡検のガイドランス）

例会（3回目）

□日時：1月23日（日）13時30分～17時45分

□会場：渋谷区立勤労福祉会館2階第四洋室

□参加者：5人

□報告：①島崎和夫「聞きがたり続茨城の炭礦に生きた人たち」を刊行して」

- ②村田淳「トリニダッド、アメリカ、コロラド州炭礦と製鉄地域見学」
(予定) *村田は家庭の事情のため出席できず、キャンセル。

見学会・巡検 1回

黒川金山(塩山市)、金山金山(大月市)巡検

□日時：10月31日(土)～11月1日(日) 1泊2日

□見学地：黒川金山

□参加者：2人

*当初、持倉鉦山、三川鉦山を予定していたが、現地との調整がつかず、中止。急遽、巡検先を変更した。

伊豆巡検(延期)

□日程：2016年3月5日(土)～6日(日) (1泊2日予定)

□見学場所：滑沢鉦山(仮称)(伊豆市)、須崎鉦山(下田市)、雲見鉦山、大峠鉦山(仮称)(松崎町)などを予定。

*案内人の村田淳の家庭の事情により延期。

鉦山の映像を観る会 2015年度活動報告

丸山もとこ

【活動内容】鉦山に関する映像を視聴する。

【開催回数】計3回：通算第41回、42回、43回

第41回鉦山の映像を観る会

【開催日・会場】2015年6月6日(土) 川崎市産業振興会館

【参加者】4人

【上映内容】「鉄—地球の記憶 地球の未来—」(日本鉄鋼連盟、1992年、18分)、「新日鉄住金の海の森づくり：鉄は海藻のサプリメント」(新日鉄住金、2015年頃、約8分)、映画「ダーク・プレイス」(ドイツ、2003年、124分)ほか

第42回鉦山の映像を観る会

【開催日・会場】2015年9月12日(土) 渋谷区立勤労福祉会館

【参加者】3人

【上映内容】短編映画「緑なき島」(NHK、1955年11月17日初回放送、約20分)、「科学ドキュメント 風化する軍艦島」(NHK、1979年12月10日初回放送、約25分)、「探検バクモン 伝説の廃墟 その名は軍艦島」(NHK、2014年6月4日放送、約24分)、「廃墟の休日 第三話 廃墟の記憶」(テレビ東京、

2015年7月24日放送、約24分)、「祝!世界文化遺産登録 タイムスリップ軍艦島」フジテレビ、2015年7月6日初出、約30分)

第43回鉱山の映像を観る会

【開催日・会場】2015年12月19日(土) 渋谷区立勤労福祉会館

【参加者】6人

【上映内容】「テレメンタリー2015 シリーズ戦後70年 落日の炭都以」(北海道テレビ制作、2015年5月25日放送、約25分)、「記憶は未来へ旅をする ～炭鉱・国鉄松浦線とともに～」(長崎県佐々町製作、2015年、約46分)、「夕張の鉄道 石炭の時代を駆け抜けた鉄道の記憶」(三菱大夕張鉄道保存会制作、2008年、約72分)ほか

海外鉱山文献読書会 2015年度活動報告

丸山もとこ

【開催回数】計8回:2015年4月9日、5月14日、6月11日、7月16日、8月20日、10月22日、11月26日、1月28日

【参加者】村田淳、斎藤和美、丸山、会員外から一名の四名

【活動内容】英語で著された鉱山文献を逐語訳で読み解く。クラーク・C・スペンス著『British Investments and the American Mining Frontier, 1860-1901』(アイダホ大学出版会刊行、1995年)を昨年度から引き続き読書中。

2016年度運営計画

□行事回数 ①年次大会・例会4回(可能ならば5回) ②見学会・巡検 2回
③映像の会3回 ④海外文献の会10回

*伊豆巡検は15年度に延期した鉱山が可能

□刊行回数 ①「鉱山研究」1回 ②「ニューズレター」4回

問題点:

- ①会員数の増加に努める。学生は会費を半額にする。
- ②各行事ともに参加者が少なく、内容やに工夫が必要。
- ③例会や大会の報告者が少ないので、報告できるひとを積極的に探す。開催方法や報告者が申し出をしやすいようにする。
- ④巡検や見学会は、希望を募り、魅力ある鉱山を対象にする。
- ⑤各行事への非会員の参加を容易にして、その後に入会を促す。

⑥「鉱山研究」には、2014年度と2015年度の大会や例会での報告を必ず掲載する。

また非会員の原稿もできるだけ掲載し、その後入会を促す。100号は記念号にする企画をたてる。

□会員の著作目録のHPへの掲載の提案

提案者：村田淳

背景

昨年度に続き再度提案します。

オーストラリアの鉱山史研究会のHPには、会員の著作目録が掲載されています。

会員相互の情報交換に役立ち、著書の売り上げにつながりますし、会の活動を詳細に世間に知らせることができます。

手順

①鉱山関係とその他の分野に分けてA、B、Cの3項目とし、発表年次順に並べる。ただし「金属鉱山研究」と「鉱山研究」に掲載分は前者の後部にその旨を表示。研究のバックナンバーを掲載することにして重複はさける。

②そのため研究のバックナンバーを整備する。

③名簿の掲載に合わせて自己申告してもらおう。メールで原稿を送ってください。

④皆様の賛同があれば目録を提供してくれた会員のものから順次掲載する。

⑤その場合、書名 発行所 頁数 発行・発表年月 購入可能な時は定価 内容を100字程度で紹介（B、C分野は省略）

*実例は、NL99を参照

例会報告者の募集

例会で報告していただける方を募集しています。

例会の報告の持ち時間は、研究大会が報告20分質疑応答10分に比べ、報告約1時間、質疑応答30分と十分に時間があり、じっくりとまとまった報告が可能です。

テーマは鉱山に関係があるものであればかまいません。金属鉱山、石炭鉱山、経済史、民俗、労働史、労働運動、あるいは鉱物、鉱床など様々な分野からの報告が会員の研究に役立つでしょう。

報告は非会員でもかまいません。報告してほしいテーマや人物があれば、お知らせください。

*問い合わせ、申し込みあるいは情報などを、村田淳あるいは役員に。

